

マイ避難カード作成の手引き

モデル事業事例集

2019 年度にモデル事業として
実施した事例を紹介します
地域での実施の
参考にしてください

神戸市

地区名	(兵庫区)ひよどり地区防災福祉コミュニティ、夢野南地区民生児童委員協議会
対象	人数約 4,100 世帯／約 9,000 名
想定災害	土砂災害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 震災後、市内全域で結成された自主防災組織の1つ。自治会組織より広い ▶ 地域の一部が土砂災害警戒区域内 ▶ 緩やかな傾斜地に位置する住宅街
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワークショップに先立ち、地域の危険箇所の現地調査を実施し、資料に反映 (P.25,26参照) ▶ 土砂災害の一般知識や避難情報についての説明後、自宅周辺の危険箇所を踏まえ、自宅から避難先までの避難経路やタイミングを参加者がマップに記入
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 11 日(水) 19:00 ~ 20:00 ▶ 参加者 自主防災組織役員、防災NPO 団体 ▶ 内 容 ワークショップの内容と進行について説明 防災NPO 団体による地域事前調査(まち歩き)
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 16 日(祝・月) 11:00 ~ 12:00 ▶ 場 所 夢野地区地域福祉センター ▶ 参加者 住民 51 名、市、県、防災 NPO 団体 ▶ 内 容 11:00 ワークショップ開始 土砂災害のメカニズムと過去の災害 11:20 地域の危険箇所(まち歩き報告) 11:40 マイ避難カード作成 12:00 終了
(3)訓練	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 11 月 16 日(土) 8:00 ~ 9:00 ▶ 参加者 住民 11 名、防災 NPO 団体 ▶ 内 容 避難訓練
成果	<p>実施後のアンケートで「よくわかった」「少しわかった」と答えた人の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅の危険性:71% ・避難する場所:87% ・避難のタイミング:84%



ワークショップ(9月16日)



避難訓練(11月16日)

芦屋市

地区名	朝日ヶ丘地区
対象	約 3,000 世帯／約 6,500 名
想定災害	土砂災害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 斜面に位置する戸建て住宅地 ▶ 約 3 割の世帯が土砂災害警戒区域内
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 月 1 回の自主防災会の一部で実施 ▶ 自治会役員や土砂災害警戒区域の世帯を中心に呼びかけ、希望者が参加 ▶ 市が策定を推進する「朝日ヶ丘地区防災計画」の一環として取り組み
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 11 月 23 日(土) 19:00 ~ 20:00 ▶ 参加者 役員約 10 名、市、県 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明 参加対象者、住民周知方法について検討
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和 2 年 1 月 25 日(土) 18:30 ~ 20:30 ▶ 場 所 朝日ヶ丘集会所 ▶ 参加者 住民 16 名、有識者、市、県 ▶ 内 容 18:30 ワークショップ開始 挨拶、趣旨説明(自治会長、市) 18:35 「土砂災害からの避難について」(有識者) 避難の必要性、土砂災害からの避難方法、 マイ避難カードの活用、地区防災計画について 19:20 マイ避難カード作成(市) 20:00 終了
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ これまでの防災情報に加え、河川氾濫情報や雨量計モニターの情報収集方法を新たに学び、 気象情報などを確認し、各自の「避難スイッチ」を設定することができた ▶ 緊急時の避難場所として、地域内のマンションへの避難についても今後検討する必要性を認識した



ワークショップ(1月25日)



ワークショップ(1月25日)で作成した防災マップ

三田市

地区名	山田(やまた)地区
対象	58 世帯／約 140 名
想定災害	土砂災害、水害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 山間部入り口に位置する集落 ▶ 谷沿いに小河川が流入 ▶ 約半数の世帯が土砂災害警戒区域内および浸水想定区域内
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 月 1 回の区定例会の一部で実施 ▶ 区内全世帯に呼びかけ、希望者が参加
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 12 月 16 日(月) 16:00 ~ 17:00 ▶ 参加者 区長、市、県 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明 参加対象者、住民周知方法、避難訓練の方法について検討
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和 2 年 1 月 26 日(日) 9:00 ~ 12:00 ▶ 場 所 山田公会堂 ▶ 参加者 住民 30 名、有識者、神戸地方気象台、市、県 ▶ 内 容 9:00 ワークショップ開始 挨拶、趣旨説明(市、県) 9:10 「避難行動について考える～なぜ、今マイ避難カードが必要なのか?」(有識者) 9:30 「気象情報を知る」(神戸地方気象台) 9:50 マイ避難カード作成(市) 10:50 まとめ 11:00 避難訓練 12:00 終了
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワークショップを通じて、避難の必要性や避難のタイミングなど避難行動について理解を深めることができた ▶ マイ避難カードをツールとして、防災について家族で話し合うことができた ▶ 作成したマイ避難カードを活かすためには、毎年訓練を行い、必要に応じてカードを修正していくことが重要であると認識した



ワークショップ(1月26日)



避難訓練(1月26日)

明石市

地区名	林小学校区 林中之町町内会
対象	約 80 世帯 / 200 名
想定災害	水害、高潮災害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 瀬戸内海に隣接した住宅密集地 ▶ 約半数の世帯が浸水想定区域内
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域内全世帯に呼びかけ、希望者が参加 ▶ 市が行う出前講座(防災講座)にマイ避難カード作成の取り組みを付加 ▶ 地域特性上、風水害に加え、関心の高い津波、高潮災害についても説明 ▶ 市独自の首下げ式のマイ避難カードを作成
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 7 月 25 日(木) 13:30 ~ 15:00 ▶ 参加者 自治会役員 3 名、市 ▶ 内 容 事業趣旨について説明、実施方法について打ち合わせ
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 10 月 6 日(日) 10:00 ~ 11:30 ▶ 場 所 中之町公民館 ▶ 参加者 住民 39 名、市、県 ▶ 内 容 10:00 ワークショップ開始 挨拶、趣旨説明(自治会長、市、県) 10:10 「災害に備えて 災害の時、どうするか」(市) 11:00 マイ避難カード作成(市) 11:30 終了
(3)訓練	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 11 月 17 日(日) 10:00 ~ 11:30 ▶ 場 所 林小学校(市指定避難所) ▶ 参加者 住民 400 名、市 ▶ 内 容 9:30 防災訓練準備 10:00 避難訓練開始 林小学校区で行う防災訓練にあわせ、 マイ避難カードを首に下げ、カードを確認しながら避難 10:30 防災訓練 11:30 終了
成果	▶ マイ避難カードに「緊急連絡先」「避難時のチェック項目」を記載し、住民の避難意識の向上が図られた



ワークショップ(10月6日)



避難訓練(11月17日)

太子町

地区名	石海(せっかい)南地区
対象	9 自治会 / 約 900 世帯 / 約 2,200 名
想定災害	水害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 田畑と住宅が混在する平坦な土地、河川が隣接 ▶ 多くの世帯が浸水想定区域内(0.5 ~ 3.0 m) ▶ 過去に浸水被害はないが、大雨時に内水氾濫が発生
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全 9 自治会から役員 2 ~ 4 名が参加 ▶ 自治会ごとにワークショップ、危険箇所の確認 ▶ 自治会ごとのマイ避難カードを作成 ▶ 後日、参加した役員から自らの自治会住民へカード作成を展開
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 8 月 9 日(金) 10:00 ~ 12:00 ▶ 参加者 地区内 9 自治会長、町、県 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明、ワークショップの進め方について
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 4 日(水) 19:00 ~ 21:30 ▶ 場 所 南総合センター(町コミュニティセンター) ▶ 参加者 石海南自主防災組織(9 自治会の役員 2 ~ 4 名)計 28 名、有識者、神戸地方気象台、町、県 ▶ 内 容 19:00 ワークショップ開始、挨拶、趣旨説明(町、県) 19:10 「気象情報の取得と読み解き方について」(神戸地方気象台) 19:40 「なぜ避難が必要か」(有識者) 20:30 マイ避難カード作成(町) 白地図、ハザードマップを確認しながら危険箇所、避難所の確認、自治会ごとにマイ避難カードを作成 21:20 講評(有識者) 21:30 終了
(3)訓練	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 10 月 27 日(日) 8:00 ~ 11:30 ▶ 参加者 石海南自主防災組織(9自治会)245 名、町職員 ▶ 内 容 町防災訓練の避難訓練を兼ねて実施
(3)反省会	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 11 月 2 日(土) 10:00 ~ 11:20 ▶ 参加者 石海南自主防災組織(9自治会)役員 12 名、町職員 ▶ 内 容 モデル事業の振り返りを実施
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 隣接市の民間施設を新たな避難場所として確認することができた ▶ ワークショップに参加した住民が、自らの自治会で同様にワークショップを行うことは難しかった。今後、ワークショップ開催をサポートできる人材の派遣、標準的な講義用資料の作成が必要



ワークショップ(9月4日)



避難訓練(10月27日)

佐用町

地区名	久崎地区家内自治会
対象	約 22 世帯 / 72 名
想定災害	土砂災害、水害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小規模集落、住民の多くが 60 代以上 ▶ 河川が隣接 ▶ 住民同士のつながりが強い ▶ 多くの世帯が土砂災害警戒区域内および浸水想定区域内 ▶ 平成 21 年の台風第 9 号により浸水被害
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地区内の多くの世帯が参加 ▶ 2 班に分かれて防災マップを作成 ▶ マイ避難カード様式を「浸水、土砂、浸水・土砂、どちらもなし」と4種類に色分けして用意
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 7 月 10 日(水) 19:00 ~ 20:00 ▶ 参加者 住民 17 名、町 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 10 日(火) 18:50 ~ 20:30 ▶ 場 所 佐用町家内公民館 ▶ 参加者 住民 20 名、有識者、町、県 ▶ 内 容 18:30 自治会会合(自治会役員) 18:50 ワークショップ開始 挨拶、趣旨説明(町、県) 18:55 防災マップづくり(町) 危険箇所、防災設備などの確認、支援が必要な方の確認 19:30 「なぜ避難が必要か」(有識者) 20:00 マイ避難カード作成(町) 20:25 講評(有識者) 20:30 終了
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 逃げどきや避難場所、危険箇所の認識には個人差があり、住民同士で情報共有できた 特に、マップづくりにおいて、「昔は.....」と記憶をたどり、危険箇所を確認できた ▶ ハザードマップ上で安全と思われる民地についても、今後避難先として検討することとした



ワークショップ(9月10日)



ワークショップ(9月10日)

豊岡市

地区名	城崎地区	奈佐地区
対象	31 自治会/約 1,560 世帯/約 3,500 名	12 自治会/約 390 世帯/約 1,000 名
想定災害	土砂災害、水害	土砂災害、水害
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各自治会から役員 1 ～ 4 名が参加 ▶ 近隣自治会ごとに 6 班に分かれてワークショップを実施 ▶ 話し合った内容を「地域防災活動の手引」にまとめ、マイ避難カード様式とともに全世帯に配布 	
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 5 月 27 日(月) 14:30 ～ 15:00 ▶ 参加者 地区内自治会長、市、国土交通省河川国道事務所、コンサル事業者 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 8 月 9 日(金) 19:30 ～ 20:30
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 6 月 23 日(日) 13:30 ～ 17:00 ▶ 場 所 市役所城崎庁舎会議室 ▶ 参加者 住民 46 名、市、社会福祉協議会、 県、国土交通省河川国道事務所、 コンサル事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 28 日(土) 13:30 ～ 17:00 ▶ 場 所 奈佐地区コミュニティセンター ▶ 参加者 住民 32 名、市、社会福祉協議会、 県、国土交通省河川国道事務所、 コンサル事業者
	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 内 容 13:30 ワークショップ開始 開会(地区コミュニティ会長) プログラム説明(コンサル事業者) 13:40 グループワーク(コンサル事業者) 13:40 参加自治会紹介 14:10 避難場所を考える(市、コンサル事業者) 14:40 避難の対象を考える 15:10 休憩 15:20 避難のタイミングを考える ・河川水位情報について(国土交通省河川国道事務所) ・避難情報について(市) ・防災気象情報について(国土交通省河川国道事務所) ・要援護者について(社会福祉協議会) 15:45 グループ協議、総括(コンサル事業者) 17:00 終了 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コミュニティでの取り組みの大切さ、防災の認識が高まった ▶ 支援者による避難支援体制が確立されていないところがあることが明らかになった 	



ワークショップ(6月23日)



ワークショップ(9月28日)

新温泉町

地区名	数久谷(すくのたに)地区
対象	13 世帯 / 27 名
想定災害	土砂災害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 小規模集落、住民の多くが 60 代以上 ▶ 全世帯が土砂災害警戒区域内 ▶ 住民同士のつながりが強い
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全 13 世帯が参加 ▶ 地域全体で住民全員の具体的な避難方法を検討 ▶ マイ避難カード様式を冷蔵庫などに貼付できるマグネットシートに印刷して用意
(1)事前打ち合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 7 月 11 日(木) 18:30 ~ 20:00 ▶ 参加者 住民 14 名、町、県 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 8 月 18 日(日) 9:00 ~ 12:00 ▶ 場 所 数久谷公民館 ▶ 参加者 住民 15 名、神戸地方気象台、町、県 ▶ 内 容 9:00 ワークショップ開始 挨拶、趣旨説明(町、県) 9:10 気象情報について(神戸地方気象台) 9:40 危険箇所を知る、まち歩き(町) 11:00 マイ避難カード作成(町) 12:00 終了
(3)訓練	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 12 月 7 日(土) 9:30 ~ 11:30 ▶ 参加者 住民 14 名、町、県 ▶ 内 容 9:30 区内放送(避難呼びかけ)により避難開始 マイ避難カードを用いて公民館へ集合 公民館前で、区長が配車を割り振り(町民センターへの避難を想定) 10:10 公民館にて防災講座 防災グッズ(新聞紙スリッパ)づくり、非常食の試食
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 住民が避難先と認識していた避難場所が土砂災害警戒区域内にあることが分かり、住民と町が相談のうえ、全員が車を乗りあわせて移動する新たな避難先を確認できた ▶ 過去に被災経験がなく、地域の危険箇所について知らなかったが、まち歩きやワークショップなどで地域の危険箇所が住民同士で共有され、防災意識が高まった



ワークショップ(8月18日)



避難訓練(12月7日)

洲本市

地区名	神子(かみこ)住宅町内会
対象	約 60 世帯 / 150 名
想定災害	水害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 田畑と住宅が混在する平坦な土地 ▶ 河川が隣接 ▶ 多くの世帯が浸水想定区域内(0.5 ~ 3.0 m)
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 地域内全世帯に呼びかけ、希望者が参加 ▶ 作成したマイ避難カードを回収し、マグネットシート加工のうえ、配布
(1)事前打ち合わせ	<p>各隣保集会にて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 7 月 20 日(土) 27 日(土) 28 日(日)、8 月 10 日(土) ▶ 参加者 自治会役員、市 ▶ 内 容 事業趣旨、避難の必要性について説明
(2)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 15 日(日) 9:30 ~ 12:00 ▶ 場 所 洲本市民交流センター ▶ 参加者 住民 28 名、有識者、市、県 ▶ 内 容 9:30 開会 9:40 マイ避難カード説明(県) 9:50 「防災気象情報の活用について」(神戸地方気象台) 10:20 「近年の災害に学ぶ これからの防災・減災・縮災」(有識者) 10:50 ハザードマップ・災害リスクについて(市) 11:20 マイ避難カード作成(市) 11:30 終了
(3)訓練	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 10 月 6 日(日) 9:00 ~ 9:30 ▶ 参加者 住民 35 名、市 ▶ 内 容 避難所(県立高校)までの避難訓練を実施
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 市指定避難所(小学校)と住民の求める避難所(県立高校)の認識が異なっており、ワークショップを機に、早めの避難のタイミングで避難すべき避難場所(小学校)と、緊急時に避難することができる避難場所(県立高校)とに整理することができた ▶ ワークショップに参加できなかった住民へ取り組みをどのように広めていくかが課題。今後、地域でワークショップ開催をサポートできる人材が必要



ワークショップ(9月15日)



避難訓練(10月6日)

南あわじ市

地区名	沼島(ぬしま)
対象	210 世帯 / 439 名
想定災害	土砂災害、水害、高潮災害
地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 淡路島の南海上に位置する離島 ▶ 漁師町で住民の 4 割弱が 70 代以上 ▶ 港を中心に集落を形成 ▶ 約半数の世帯が土砂災害警戒区域内または浸水想定区域内
ワークショップの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 島内 5 地区から 6 名ずつが参加 ▶ 土砂災害、浸水災害のほか、高潮災害もあわせて取り組み実施
(1)ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 日 時 令和元年 9 月 21 日(土) 9:30 ~ 12:30 ▶ 場 所 沼島総合センター ▶ 参加者 住民 30 名、有識者、市、県 ▶ 内 容 <ul style="list-style-type: none"> 9:30 ワークショップ開始 挨拶、趣旨、マイ避難カード説明(自治会長、県) 9:40 「豪雨時の避難と備え~地域ハザードマップとマイ避難カードを作っておこう~」(有識者) ハザードマップの説明(市) 10:30 ①まち歩き(住民、市) ・5グループに分かれて、避難所である沼島総合センターから 自宅周辺までをまち歩き ・危険箇所や頼りになる箇所などを確認 ②地域ハザードマップづくり(住民) ・まち歩きで確認した内容をもとに地域ハザードマップを作成 ・各グループごとに発表し、情報共有 12:00 マイ避難カード作成(住民) 12:30 帰宅しながら避難ルートを確認(住民) 終了
成果	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 逃げどきや避難場所、危険箇所の認識には個人差があり、住民同士で情報共有ができた ▶ 避難に支援が必要な高齢者などにどのように避難してもらうかが課題



ワークショップでのまち歩き(9月21日)



ワークショップでの地域ハザードマップづくり(9月21日)

モデル事業実施市町のマイ避難カード様式例

三田市

ウラ面に避難に関する情報や連絡先を記入する欄を印刷したマイ避難カードを作成

オモテ面

ウラ面

洲本市

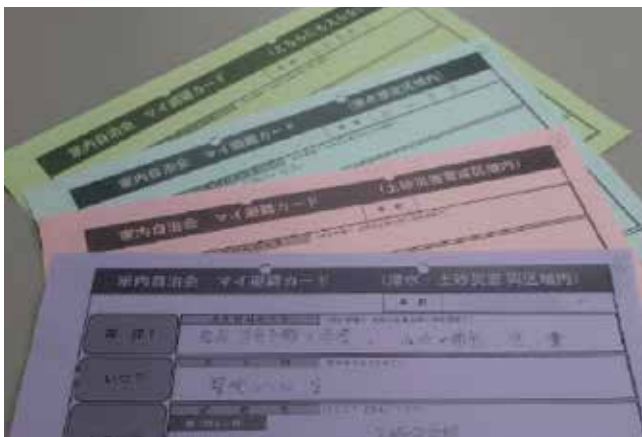
雛形をアレンジし、一緒に避難する人ともしものときに連絡する人の連絡先を記載する欄を追加

豊岡市

ベスト、セカンドベスト、サードベストの対応が記載できるマイ避難カードを作成

佐用町

想定される災害の種類によって色を分けたマイ避難カードを作成



太子町

自治会単位での避難ルールを付箋を使って検討できるように、大判のマイ避難カードを用意

